

過去と未来

五所川原市立五所川原第四中学校

私は、助けられなかつた。」ちろん、二年対馬優奈

突然ですが、私の将来の夢は看護師です。

休校中のこと、私はもっとと看護師のことか知りたくてネットで調べてきました。

看護師の2人の女性が目に入りました。コロナウイルスにかかりました。

一人目の女性は、私の患者さんか一人亡くなりました。

命を奪ひます。皆さんも手洗いうがいを

つかつて自分の大切な人たちを守ってくださいに気を

防ぎを呼びかけような前向きな内容だった。私は看護師になつたが他の人の人感染予

にもなりませんが、いつも私を励ました。私は看護師に必要な人を助けました。私は、患者さんを助けました。しかし、コロナウイルスに感染した一年

なりました。」と、とても悲しみに嘆いていました。

私は今まで「看護師になら」と心の中ではいじら

ましたが、一人の女性が芽生えました。彼女は、中

で呪いをしていました。

文のようになじみ通り返してしまいました。

護師にならないのか」「どう考えか」「どんなな

なりたいのか」「何人もの人が」「なぜ大人の

感染みて辛い思いをしています。しかし、たま

のまま過去のことだけを考えても、コロナウイル

スで何人もの人が亡くなりました。そこで、

私はこの経験から、二人目の女性のようによく

最初は悲んでしまうかもしれません。しかし、たま

うな大人にならないと我心里から思いました。